

笑う埴輪 ~埴輪はどうして
笑っているの?~

藤岡市立藤岡第二小学校

五年 一組 名前 鬼山里桜 (返却希望)

令和5年度

「ふるさと藤岡」
郷土研究

タイトル

笑う埴輪～埴輪はどうして笑っているの?～

(No. 1)

藤岡市立藤岡第二小学校

5年

名前 鬼山 里桜

1 研究の動機

ららん藤岡にレプリカがある笑う埴輪。何年か前に
群馬HANI-1グランプリで1位をとった有名な藤岡の埴輪
だけど、なにものなのかが気になり、どうして笑っているのか知りたいと思い

調べました。

2 研究の目的

- ・笑う埴輪は藤岡のどこで、いつ発見されたのか。
- ・いつの時代のものなのか。
- ・埴輪はどうして笑っているのか。

3 研究の方法

- ・歴史資料館に行き、調べる。
- ・歴史資料館の人に話を聞いてみる。

4 内容

笑う埴輪は、平成9年(1997年)に藤岡市牛田の下田遺跡で道路拡幅工事をしている時に偶然発見されました。現在、発見された場所(防災公園東側)には看板があります。



笑う埴輪の特徴は、坊主頭に目を細めてゆかいそうに笑っている表情です。発掘調査で見つかったものでないのだから分からないことが多い埴輪だそうですが、よくみると坊主頭のおでこの部分の粘土に裂かれた跡があります。そこから、そこに何か装飾があったのではないかと考えられるそうです。おでこに装飾がある埴輪は、写真のような帽子をかぶった人物埴輪(男性)があります。



古墳時代の帽子は、あの世へ行く時の死者の「かぶり物」として役割があったらしく、藤岡市では帽子だけ表現した埴輪が平井地区で見つかっています。

笑う埴輪もおそらく、本来は坊主頭の埴輪ではなく帽子をかぶった埴輪だったのではないかと考えられています。

帽子をかぶった埴輪のように、埴輪には無表情のものが多いのに、どうしているのかという理由も完全に説明されていないようです。

しかし、古墳時代の「笑う」という行為には外敵や邪気を防ぐ力がある信じられていたのではないかと考えがあり、魔除けや儀式に使われたのではないかと考え方もあるようです。

埼玉県本庄市にも「笑う埴輪」が見つかり、その埴輪は、古墳を外敵から守る盾を持った人を表現していて、古墳の入口付近で出土しています。

「笑う埴輪」は、藤岡歴史館で本物を見ることが出来ます。



(No. 4)

5年

名前 鬼山 里桜

5 まとめ

笑う埴輪について調べて、まず笑う埴輪が工事で偶然発見されたという事におどろきました。そして、偶然発見されるくらい藤岡市には古墳がたくさんある事にもおどろきました。笑う埴輪は本来は今、私たちが知っている坊主頭のにこにこ笑顔のかわいい埴輪ではなく、帽子をかぶっていて、何かから守るために笑っていると考えられていると分かったから、笑う埴輪を見ると少し恐く見えてしまいました。でも、遠い昔の人か、どんなことを思っていたのか考えていくのも楽しいなと感じました。

6 参考文献

- ①url <https://www.pref.gunma.jp/07/b2/g-00638.html>
- ②藤岡市歴史館展示資料
- ③^サ藤岡市文化財課職員解説